

和地ひとみレポート No.445

8月25日 市は今年の市民意識調査報告書を公表

毎年実施される調査。今回の注目調査項目は



■市民意識調査報告書

…市が毎年実施している市民意識調査。
この調査は、市民意識を多分野にわたり把握するとともに、「市民の満足度」等を目標値としている市の基本構想や実施計画などの項目の進捗状況を確認することを目的として、平成24年12月に第二次基本構想(改訂)と第四次基本計画が策定されてから実施されています。

…そして、今年の2月15日から3月15日に実施された市民意識調査の結果がまとまったため、市ではその結果報告書を8月25日から公式ホームページで公開。このレポートでも、度々、この結果報告について取り上げていますが、毎年、同様の定番とも言える調査項目(例:定住意向、市の施策の重要度、生活環境について等)の結果については、今回も大きな変化はありませんでした。そこで、今回の市民調査の中で、特徴的だった調査項目等について今回は紹介したいと思います。

※調査結果報告の全内容については、市のホームページで閲覧可能です。

【今年の市民意識調査の実施方法と回答者など】

- ◆調査対象:令和4年2月1日(火)現在における市内在住の18歳以上の市民3,000人を無作為抽出
- ◆調査方法:郵送による配布・回収
- ◆調査時期:令和4年2月15日～3月15日
- ◆回収数:1,052人(35.1%)
⇒男性:456人(43.3%) 女性:573人(54.5%)
選択せず:8人(0.8%) 無回答:15人(1.4%)

【年齢】

18～19歳	15人
20～29歳	73人
30～39歳	124人
40～49歳	193人
50～59歳	266人
60～64歳	108人
65歳以上	260人
無回答	13人

【職業】

自営業	69人
会社員・公務員	418人
アルバイト・パート	169人
主婦・主夫	170人
学生	25人
無職	149人
その他	37人
無回答	15人

■今回、新たに取り上げられた調査項目は

…前述のとおり、毎年の市民意識調査の定番の調査項目の結果は大きな変化はありませんでしたが、これらの定番調査項目は、経年で比較可能です。

…一方、毎回変化する調査項目は、その時点での市の課題などが反映されたものとなっています。例えば、今回の調査で新たに取り上げられた調査項目については、現在の市の課題である「公共施設の再編」などを反映した項目もあり、その結果は興味深いものでした。

【今回新たに取り上げられた調査項目の結果概要】

◆公共施設の利用等について

市の公共施設の利用については、「利用した」は「図書館」、「郷土博物館」、「市民会館」の順に高くなっている。一方、利用していない理由の「施設の存在やサービス内容を知らない」となっていたのが、「地区会館」、「集会所」、「公民館」、「老人福祉センター」で1割台半ばと、他の施設に比べ高くなっている。

少子化に伴う今後のサービスの維持については、「そう思う」と「どちらかと思えばそう思う」を合わせた《そう思う》は、「公共施設の建替えでは、公民連携手法の積極的な活用により、施設整備・運営管理を民間が一体的に行うことで、公共施設の更新費用の負担軽減を図る」と「用途が重なっている、交通利便性の低い場所にある等で稼働率の低い施設は、耐用年数まで使用し、その後は廃止(除却)する」が8割近くと最も高く、次いで「小中学校の建替え時には、学校が使用しない時間は、市民が体育館や音楽室等を使用できるようにする」が7割台半ばと続いている。

◆農業について

市内の農産物直売所の利用状況は、「利用したことがある」が4割台半ばとなっている。農産物直売所を利用する理由は、「鮮度が良いから」が8割近くとなっている。農産物直売所の利用頻度については、「ほぼ毎日」と「週3回程度」と「週1回程度」を合わせた《週1回以上》は1割台半ばとなっており、「月3回程度」と「月1回程度」を合わせた《月1回以上》は4割近く、「年に1～2回程度」が4割台半ばとなっている。農産物直売所を利用しない理由は、「スーパーなど他の店を利用しているから」が6割を超えている。

◆自治会について

自治会の活動については、「自治会の活動に関心がない」が3割台半ば、「住んでいる地区に自治会があるかわからない」が2割台半ば、「満足である」が1割台半ばとなっている。

◆性の多様性について

性的少数者への施策については、「とても重要だと思う」と「重要だと思う」を合わせた《重要だと思う》は6割近くとなっている。一方、「どちらかといえば重要でないと思う」と「重要でないと思う」を合わせた《重要でないと思う》が2割近くとなっている。

性的少数者の意識啓発のための取組については、「理解を深めるための小中学校等における教育」が6割台半ばと最も高く、次いで「相談・支援体制の充実」が6割近く、「同性パートナーシップ制度の導入」が5割を超えている。

◆学校給食について

学校給食で最も重要と思うことについては、「食育の効果が望める献立」が3割を超え最も高く、次いで「栄養価が高いこと」が3割近く、「バリエーション豊かな献立」が2割を超えている。

(裏面に続く)

■東大和市にあると良いと思う施設は

…今回の調査項目で特に興味深かったのは「あなたが利用したことがある、または出かけてみたいと思う施設で、東大和市にもあると良いと思う施設があれば教えてください。その施設の所在地と施設名称、東大和市にあると良いと思う理由をご記入ください」というもの。

…例えばスポーツ施設の中で1番多かった“室内・温水プール”については「中野区立中野中：理由は中学校の施設の中であるが一般も利用できる(年間通して)東大和市でいえば、二小と二中のプールが隣あっており、ここが屋内プールで1つになれば、学校利用のない期間是一般利用が年間を通して可能になると考えます」といった回答や、社会教育文化施設の“図書館”については「武蔵野市武蔵野プレイス：図書館+カフェスペース外には芝生とベンチがあり、休日に親子で出かけたくなる」といった意見が。また、公共施設ではありませんが「多摩湖の周りにカフェやレストラン」等といった様々な意見が多数寄せられていました。

…また、回答の中には、近隣市や都内だけでなく北海道や高知県、兵庫県など遠方の施設も。それら施設については、市は参考までに、最低でもその施設のHPなどで設備や特徴となる魅力などを確認すべきと思います。

【施設分野別合計数】 ()内は件数

◆スポーツ施設について(合計 75 件)

体育施設(18)／屋内・温水プール(39)／プール(2)
野球場(5)／スケートパーク(4)／ゴルフ(3)／その他(4)

◆娯楽施設について(合計 35 件)

温泉施設(27)／映画館(8)

◆社会教育文化施設について(合計 70 件)

図書館(22)／子育て関連施設(16)／公民館(3)
博物館・美術館(24)／市民会館(5)

◆公園・子ども広場について(合計 35 件)

公園(30)／ドッグラン(5)

◆商業施設について(合計 69 件)

◆官公庁施設について(合計 6 件)

◆教育施設について(合計 3 件)

◆医療・社会福祉施設について(合計 7 件)

◆その他(合計 27 件)

◆その他・施設以外の内容(合計 32 件)

◆特にない・わからない(合計 19 件)

■調査結果をどう活かすか

…今年度の市民意識調査は9回目。毎年、調査結果報告書が公表されるたびに、私は目を通してはいますが、これらの結果の活用については、前述の「市の基本構想や実施計画などの目標値の進捗状況を確認」以外は把握していません。

…一方で、約85,000人の市民の1.2%の市民の回答をどのように位置づけるのか…。「満足度」という個人差があるものが本当に施策の進捗度を測る指標に適しているのか。知りたいことをより引き出すための質問内容なのか。“郵送”という方法だけでの実施が良いのかなど、前例踏襲で実施している市民意識調査については、抜本的に内容、実施方法を見直す時期では。

…自治体間競争が激しくなる昨今では、市民意識調査にマーケティング要素を取り入れている自治体が増えていきます。一方で、職員の調査リテラシー(調査を正しく理解し活用する能力)を課題と認識し、研修などで改善、向上をめざしている自治体も増えていきます。

…9月1日から開かれる市議会定例会で私は、これら市が行う調査結果などの活用方法などについて、一般質問で取り上げることとしています。市には『なんのために調査をおこなうのか』ということを再考していただく機会となればと思っています。

豪雨による浸水、道路冠水などの被害軽減のための空堀川上流雨水幹線整備 都の下水道局が説明会を開催

…近年、狭い範囲に集中的に降るゲリラ豪雨が様々なところで発生。ここ数年の間では、市内においても道路冠水や逸水被害などが発生しています。

市内を通る空堀川は、1971年に東京都が流域で発生する水害の軽減・防止のために改修工事整備の都市計画を決定し、整備が進められているところですが、東大和市・立川市・武蔵村山市の一部の地域では、河川より地盤が低いなどの地形的な理由により、いまだに浸水被害が頻発。都は、これらの地域における浸水被害への対策として、新たに空堀川上流雨水幹線の整備を行っています。

…そしてこの度、新たに「上中原公園⇒用水北通り⇒ハミングロード⇒向原西公園」の延長 約2.0kmにおいて、シールド工法による整備の実施が決定。下記の通り、東京都下水道局が説明会を開催します。今回は、コロナの感染状況も踏まえ、2回の実際の説明会に加え、ZoomによるWEB説明会も開催するとのことです。

【説明会の日時など】 ※①、②は事前申込み不要。車での来場は控えてください。 ③WEBは事前申込みが必要。

① 令和4年8月31日(水)19:00~20:00 東大和市立第二小学校 体育館(上履きを持参ください)

② 令和4年9月6日(火)19:00~20:00 新堀地区会館 集会室

③ WEB(Zoom)開催 令和4年9月9日(金)19:00~20:00 (9月2日17時までにメールで申込)

⇒申込メールの宛先: S4000030@section.metro.tokyo.jp

⇒メール件名『説明会参加希望』

⇒メール本文には氏名(必須)、招待メール送付先のメールアドレス(必須)、電話番号(任意)

問合せ先: 東京都下水道局 流域下水道本部 技術部 設計課 TEL042-527-4409 (担当:三瓶・森下・佐藤)

冠水



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。
私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思っています。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102